

老健いばらき

第54号

2019.2.1



城里町七会町民センター「アツマーレ」(城里町)

写真提供：城里町役場まちづくり戦略課

城里町七会町民センター「アツマーレ」は、平成27年3月に廃校となった旧七会中学校を再活用し、支所・公民館・バーベキュー施設などの機能を1か所に集約した複合施設です。平成28年7月には日本初の試みとして、J2のプロサッカーチーム「水戸ホーリーホック」と跡地利用整備に関する協定書が締結され、施設の一部がクラブハウス及び練習場として運用されています。地域住民のスポーツや文化活動の拠点施設として注目されるとともに、今後ますます多目的な利用が期待されています。



城里町マスコットキャラクター
「ホロル」

発行所／一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会
発行人／平成園 小柳 賢時

編集人／かすみがうら
編集／田尻ヶ丘ヘルシーケア
鹿野苑
プラタナスの丘
シニア健康センターしおさい
つくばリハビリテーションセンター

大場正二
石川達也
熊坂裕吾
大曾根卓
児島強
市原健一

老健いばらき

会長挨拶

一般社団法人
茨城県介護老人保健施設協会
会長 小柳 賢時

明けましておめでとうございます。平成30年度は医療・介護報酬同時改定の年でした。各施設それぞれ対応に苦慮されたと推測されます。老健は在宅復帰・在宅生活支援のための地域拠点施設と介護保険法で定義され、今回の改定で類型の基準により介護報酬に大きな差がつきました。次回の介護報酬改定においては更なる強化が求められます。各施設努力しているところですが、全国的な人手・人材不足は頭の痛い問題です。医療において人材紹介会社へ600億円もの手数料が流れ、介護においても背に腹はかえられず利用が増えており、医療・介護報酬から支払われることで大きな問題と感じています。

介護福祉士養成校の定員割れは大きく、定員の充足率は45%程度、潜在介護福祉士40万人という状況の改善対策を進めるに外国人労働者に頼らざる得なくなっていますのも事実です。今回、政府の外国人材受け入れに関する制度見直しや入国管理法の改正がされました。介護の現場で働くためには、EPA・技能実習制度・在留資格制度があり、在留資格の特定技能に介護福祉士が加わり、全老健では外国人留学生を入国前から支援し、老健施設での就労に結び付ける仕組みを検討しています。言わっているような外国人労働者への不正行為や差別は医療法人や社会福祉法人が運営する老健においては考えられないことです。茨老健で意向調査をした結果では、介護福祉士修学資金を借りる際の法人としての保証人には躊躇する施設が多くあります。施設独自の奨学金制度や住居支援には対応するといつ施設が多い結果でした。

今後茨老健においても外国人労働者受け入れ施設も増えると考えます。また、消費税増税時の取扱いや福祉目的税としての使い方、介護人材や老健で働く多職種等への待遇改善に期待したいと考えます。本年も地域貢献のため皆様と活動していきましょう。

一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会 会長 小柳 賢時

ご挨拶

一般社団法人
茨城県介護老人保健施設協会
副会長 大場 正一

本年度は、平成30年度介護報酬改定を受け、老健施設として様々な対応を求められる年度となりました。施設運営の観点から将来に振り返ったときには大きな節目となることは間違いないことが言えるでしょう。

現在の老健施設を取り巻く社会環境の変化は著しく、とりわけ、行政から求められる機能や期待される役割も増しに大きくなっています。今後の介護報酬改定でも、この流れは顕著になり、改定内容の中に反映されいくことが予想されているものです。

この状況の下、老健施設も原点に回帰し、医療と在宅（在宅介護等）の中間施設としての高度な機能の発揮、また地域包括ケアの中心的担い手としての立場と役割を鮮明にしていくことが、恒久的な存在意義を担保することにも繋がっていくものと考えます。これまで、老健施設はいわゆる中間施設としての立場を、ややもすると受身の形として捉える場合がありました。医療機関からの利用者の受け皿として、または地域行政機関や居宅介護支援事業所を通じての利用者の受け入れ先として、それぞれの主導であることが、その要因の一つとして考えられます。しかし老健施設はその性格上、医療と介護それとの機能

地域包括ケアの中核に存在し地域に共生しているといえるものです。

さて、地域と共に生むことはどういうことでしよう。少なくとも簡単に当該地域に立地していることが即ち共生していることであります。地域の方にとつてなくてはならない場所となり、とりわけシニア世代や家族からの拠り所になる必要があります。一步進めれば地域との共生は、地域の方と老健施設が年代を貫き関係性を持つことであり、地域行政機関や居宅介護支援事業所等との連携とは別に、地域のシニア事情や地域に生活されている方を熟知するよう努めなければなりません。そのためには、老健施設が、より積極的に地域へ様々な情報を発信し、さらに、開かれた場所にしていかなければその目的を達成することは困難になるでしょう。今後の継続した努力により、地域と共に生む、求心力や存在感を大きくしていくことは、地域包括ケアの中心となるだけではなく、地域の方にとって「真に頼りにされる、かけがえのない施設」となつていいくことでしょう。

最後になりましたが、県保健福祉部では第7期健康プラン21がスタートされ、改めて健康寿命日本一を目指すようになりました。老健施設においても、業態としての健康寿命延伸に対する仕組みづくりを構築し、本県の施策に対して確かな関わり合いや実績で寄与して参りたいと思いますので、会員の皆様方におかれてましても何卒、ご協力をいただきますようお願いいたします。

平成30年の介護保険制度の改正により「在宅支援」機能が明示された介護老人保健施設には、在宅支援・在宅復帰のためのリハビリテーションを提供し、生活機能の維持・向上を支援する包括的ケアサービス施設として、地域包括ケアシステムを構築していくうえでより一層の期待が寄せられております。

結びに、今後とも本県の高齢者行政の推進にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会の益々のご発展をご祈念いたしまして、挨拶といたします。

茨城県保健福祉部健康長寿福祉課
課長 杉山 順彦

ご挨拶

茨城県介護老人保健施設協会会員の皆様方 あけましておめでとうございます。



老健いばらき

茨城県介護老人保健施設協会 功労者表彰受賞にあたつて

介護老人保健施設さざんか荘

介護職員 塚田 福江

この度は、功労者として表彰していただき、誠にありがとうございます。

介護老人保健施設さざんか荘は、平成一年に開設し、私は入職して二十八年になります。

介護職員としての経験がなかつた私は、失敗もあり苦悩した日もありました。ここまでも長い間仕事を続けてこられたのも、さざんか荘の施設長始め、諸先輩方のご指導、同僚たちに支えられてのことと心より感謝しております。また、利用者様とのたくさんのお会いにも感謝しております。

利用者様と泣いたり笑つたり共に過ごす中、利用者様の心の声に気づけず悩んだこともあります。何度も何度もコミュニケーションをとる中、その利用者様が微笑み、「ありがとうございます」との一言に、胸がいっぱいになることもあります。

現在 当施設では多職種間で連携して、利用者様の在宅復帰に力を入れて取り組んであります。在宅復帰は利用者様にとって希望となり、職員にも意欲とやりがいに繋がるものだと思います。

私は、一人でも多くの利用者様が笑顔で過していただける様に、そして一人でも多くの方が望まれる在宅復帰ができる様に、利用者様・御家族様に寄り添い、安心で頼れる介護を心がけていきたいと思います。

茨城県介護老人保健施設協会 永年勤続者表彰受賞にあたつて

介護老人保健施設 シルバービレッジ

看護師 大貫晃

この度は永年勤続にて表彰していただき、誠にありがとうございます。

介護老人保健施設シルバービレッジは平成4年に開設された施設で、私は平成11年6月に入職しましたが、当初はやつていてける自信は全くなく、不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、これまで19年間勤めることができます。も、先輩方の指導や同僚の支えがあつてこそあります。深く感謝いたします。

入職当時を振り返ると、男性職員はほとんどいませんでしたが、介護保険制度が導入されて以降、車椅子利用者や寝たきり状態の利用者が増えたために男性の腕力が求められるようになつたなどの理由かと思いますが、今は職員の3割が男性職員となりました。利用者の悩みや病気などによつては、男性だからこそカバーできる「アリケート」な問題もあります。これらを解決してあげることは自分のやりがいにもつながるものと思っています。

2025年には約3人に1人が65歳以上になると予想されています。そのため、職員一人一人が日々技術や知識を勉強していく必要があります。また、業務に関連する法律改正などをたびに勉強し覚えてはいけないのでとても大変ですが、これからも日々努力していきたいと考えています。

最後に、今後も多くの人たちとの絆を大切にして仕事に邁進し、入所者の方々から「シルバービリレッジに入所して良かった」と言われるような介護をしていきたいと思います。

功労者表彰受賞者一覧表

施設名	職名	氏名	勤続年数 (H30.3.31現在)
エバーグリーン	理学療法士	海野 聰	10年
エバーグリーン	リネン係	渡辺 綾子	10年
大宮フロイデハイム	介護福祉士	坪 宗彦	12年
大宮フロイデハイム	看護師	大内としゑ	11年
大宮フロイデハイム	看護師	小泉 昌司	11年
大宮フロイデハイム	准看護師	木村 君子	11年
大宮フロイデハイム	介護支援専門員	佐藤 涼江	11年
かすみがうら	介護職	大久保栄市	11年
かすみがうら	介護職	茂木絵理子	11年
くるみ館	介護職	橋本 泰和	10年
こぎょうの里	介護職員	小寺 裕子	14年
こぎょうの里	介護職員	田口 瞳	14年
こぎょうの里	事務職	斎藤 大	14年
こぎょうの里	理学療法士	斎藤有希恵	13年
こぎょうの里	介護職員	中山香奈枝	13年
こすもびあ	介護職 (介護福祉士)	岩間 光彦	10年
境町メディカルピクニック	管理栄養士	大島美津子	13年4ヶ月
境町メディカルピクニック	介護士	岡安美恵子	16年6ヶ月
さくら	介護福祉士	山本有希子	11年
さくらがわ	看護師	萩原りい子	11年



老健いばらき

永年勤続者表彰受賞者一覧表

施設名	職名	氏名	勤続年数 (H30.3.31現在)
さくらがわ	ケアマネ	鈴木 正史	10年
さくらがわ	介護士	藤田 貴子	10年
さくらがわ	看護師	関口 美江	10年
さざんか荘	調理員	市村 愛子	10年7ヶ月
サングリーンやさと	通所介護職	田山 憲一	15年1カ月
サングリーンやさと	通所介護職	寺門 幸枝	10年8ヶ月
サングリーンやさと	入所介護職	鈴木 隆宏	14年11ヶ月
サングリーンやさと	入所介護職	込山 裕之	11年5ヶ月
サングリーンやさと	事務職員	松田 礼子	10年11ヶ月
シニア健康センターしおさい	介護士	桂川 正枝	10年
シニア健康センターしおさい	介護士	高倉 照美	10年
シニア健康センターしおさい	介護士	木下 雅恵	10年
シニア健康センターしおさい	介護士	井上 彩	10年
シニア健康センターしおさい	介護士	菱沼 陽平	10年
春秋園	介護福祉士	岡田 智美	10年
春秋園	介護福祉士	角 幸恵	10年
春秋園	介護福祉士	星 みゆき	10年
春秋園	看護師 介護支援専門員	木村 直美	10年
春秋園	訪問介護員1級	神棒 信也	10年
春秋園	介護福祉士	宮丸 聰士	10年
春秋園	介護福祉士	坂井 力	10年
春秋園	介護福祉士	渡邊 勇也	10年
シルバーケア土浦	介護福祉士	吉村 由佳	13年5ヶ月
シルバーケア土浦	介護福祉士	西片 淳	10年8ヶ月
シルバーケア土浦	介護士	小松崎知子	10年5ヶ月
シルバービリレッジ	看護師	大貴 晃	18年10ヶ月
シルバービリレッジ	理学療法士	鈴木 和成	10年
シルバービリレッジ	調理師	城戸加奈子	10年2ヶ月
スベリア360	正看護師	清水 愛子	12年
スベリア360	理学療法士	飯田真希子	10年
スベリア360	社会福祉士	永井麻紀子	10年
スベリア360	介護福祉士	小森 正子	11年
スベリア360	介護福祉士	福島 潤	10年
スベリア360	介護福祉士	板倉由美子	10年
スベリア360	介護職	伊藤 英雄	11年
スベリア360	介護職	原 緑	10年
田尻ヶ丘ヘルシーケア	介護福祉士	深澤 憲司	15年11ヶ月
田尻ヶ丘ヘルシーケア	事務主任	古味 利江	15年9ヶ月
田尻ヶ丘ヘルシーケア	准看護師	桑久保明子	15年7ヶ月
つくばケアセンター	看護師 ケアマネージャー	初田美千代	11年
つくばケアセンター	准看護師	大塚 明美	11年
つくばケアセンター	介護福祉士	井之上 寛	11年
つくばケアセンター	事務	山口 和恵	11年

施設名	職名	氏名	勤続年数 (H30.3.31現在)
日立南ヘルシーセンター	介護士	小野寺 晴美	14年
プラタナスの丘	管理部長 (看護職)	小室 美子	10年
プラタナスの丘	看護職	石井 順子	10年
プラタナスの丘	看護職	鈴木 久美	10年
プラタナスの丘	看護職	高野ひかる	10年
プラタナスの丘	通所課主任 (介護職)	細谷 紀子	10年
プラタナスの丘	介護職	上久保洋江	10年
プラタナスの丘	入所課リーダー ¹ (介護職)	岸 里子	10年
プラタナスの丘	入所課リーダー ¹ (介護職)	江幡 貴子	10年
プラタナスの丘	介護職	岡部 裕美	10年
プラタナスの丘	リハビリ課主任 (作業療法士)	櫻井 学	10年
プラタナスの丘	管理課長 (介護支援専門員)	長谷川澄恵	10年
プラタナスの丘	管理栄養士	関 圭子	10年
プロスペクトガーデン ひたちなか	介護士	河野 成美	10年
プロスペクトガーデン ひたちなか	作業療法士	伊藤 秀一	10年
プロスペクトガーデン ひたちなか	介護士	齊藤千代子	10年
プロスペクトガーデン ひたちなか	介護士	芳賀 隼	10年
平成園	介護課主任	館野 富直	10年3ヶ月
平成園	理学療法士	森 祐貴	10年11ヶ月
平成園	介護士	平子 直樹	10年
マカベシルバートピア	介護職	稻葉 友美	10年3ヶ月
マカベシルバートピア	介護職	中川真由美	10年9ヶ月
マカベシルバートピア	看護部	倉持 文子	10年9ヶ月
マカベシルバートピア	看護部	細谷 浩子	10年6ヶ月
マカベシルバートピア	言語聴覚士	入野 志保	10年11ヶ月
まくらがの郷	相談課職員	高橋 弘美	10年
まくらがの郷	介護課職員	井端 英仁	10年
まくらがの郷	介護課職員	平 悅子	10年
まくらがの郷	栄養課職員	西田 収	10年
ゆうゆう	介護福祉士	鯉淵 良太	10年
ゆうゆう	介護福祉士	高橋 良典	10年
リヒトハウス北浦	介護職	生井沢恵美	11年
リヒトハウス北浦	介護職	宮内 眇美	11年
リヒトハウス北浦	栄養士	茂木 理香	11年
リヒトハウス北浦	介護職	鈴木知恵子	11年
涼風苑	看護師	足立 由香	16年
涼風苑	介護士	浜園 雅司	14年
涼風苑	介護士	小林 悅子	12年

看護・介護専門委員会 研修会報告

委員長 田尻ヶ丘ヘルシーケア 塚田 尚樹

平成30年度第2回看護・介護専門委員会研修会が10月23日、茨城県市町村会館で行われました。今回は、動くことを通して脳を活性化させ認知機能や運動機能の向上を目的としたプログラム、シナプソロジーについて学びました。講師には、シナプソロジーアドバンス教育トレーナーの所圭吾先生をお呼びし、講義、演習と内容の充実した研修会を行うことが出来ました。

講義では、シナプソロジーとはなにか基本的な事から教えていただき、利用者様に向かた観点からその効果や意義を分かりやすく解説して頂きました。

演習では、実際に体を動かしながら脳に刺激を与えるエクササイズを参加者同士で行いました。あえて新しいことや慣れていないことをするエクササイズを、上手くできたりできなかったりする中で、参加者の皆様からは笑みや笑い声といった様子がみられ、楽しく学ぶことが出来ました。

今回学んだシナプソロジーは、利用者様の認知機能を向上させるだけでなく、職員に対してもメンタルヘルスの観点から効果を期待できるそうです。ぜひ参加者の皆様には今回学んだ事を介護の現場で活用して頂ければと思います。

今後も専門職としての知識や技術を高められることができる研修会を開催したいと考えておりますので、ご多忙とは思いますがご参加いただけるよう、ご協力お願い致します。

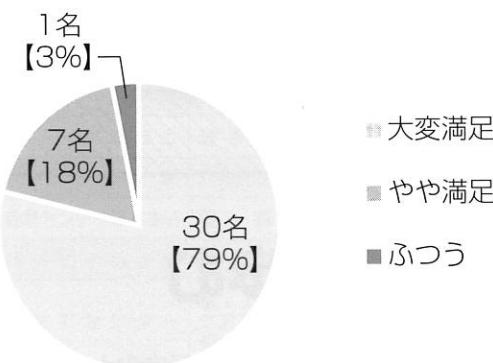


平成30年10月23日 第2回看護・介護専門委員会研修会アンケート集計結果

参加者構成：出席者39名中、アンケート回収数38名
(管理者 6名 従業員 32名)

研修評価

今回の研修会はいかがでしたか？	人数	割合
大変満足	30	79%
やや満足	7	18%
ふつう	1	3%
やや不満	0	0%
非常に不満	0	0%
合 計	38	100%



- ・他者との交流があり、楽しく、笑顔になれてよかったです。
- ・からだを動かしながら楽しく参加できた。
- ・現場で使えそうな実技だった。
- ・ぜひ明日から取り入れていこうと思った。
- ・参加者全員を巻き込んで楽しくできたところが良かった。
- ・レクレーションが活性化でき、利用者様に笑顔になっていただけたと思った。
- ・体操担当の時に、簡単なのを取り入れたいと思った。
- ・自分が知らないこと、たりないところを自覚することができた。
- ・静と動のバランスがよかったです。
- ・内容が分かりやすく、楽しい研修だった。

基本型施設から加算型施設へ

コミュニティケアセンター樅山は、定員85名の介護老人保健施設です。純農村地域である鉢田市の要介護者を取り巻く環境改善の為に、平成10年に開設されました。平成30年11月からは、在宅加算型施設として、入居者様の在宅復帰支援、重度化防止の為の取り組みに入っています。

今年度の報酬改定では、老健施設の役割について、在宅復帰支援が今までよりも明確化され、より一層老健施設の在り方が求められることとなりました。

当施設においても、本来の役割を果たす為に、業務内容やケア内容の見直し、多職種間への情報共有を行ってきました。

私は、施設介護支援専門員として、カンファレンスの開催を通して、自立支援介護の考え方を、各専門職へ伝え続けました。

加算型となる前までは、カンファレンスの必要性をなかなか理解していただけず、「家に帰らないのだから、リハビリなんてしなくていいじゃない? 寝たきりだから、看取りだからケアの向上は難しいよ。」と諦めない姿勢と、マイナスな発言ばかりでした。これでは在宅復帰・自立支援どころか、何も変わらず従来のままになってしま



介護老人保健施設 コミュニティケアセンター樅山
施設介護支援専門員 岡澤 秀亮

まう。そう思いました。

そこで、更にスタッフの意識の向上を図る為に、「老健の役割・自立支援介護・リハビリ・福祉用具」等、テーマを用いて勉強会の開催や、福祉用具の展示ブースの設置を行い、更なる意識と知識の向上に努めました。結果少しづつではありますが、多職種間で前向きな発言が多くなり、御利用者様の自立に向けた意識の高まりが見える様になってきました。カンファレンスにおいても、長期入所の方・重度化している方も含めて、一つでもケア内容の向上が図れるように、多職種間で話し合いが出来るようになりました。食事・排泄・入浴・移乗等のADL状況において、リスクも踏まえた上で向上できる可能性を考えます。今までは、リスクばかり考えていて前に進めなかった部分が、自施設においては、かなり向上出来た部分だと感じます。

加算型に移行する事で、今までよりも回転が多くなり、多職種への負担も多くなります。引き続き施設内の連携を密に図り、老健施設としての役割を、十分に發揮出来る様に支援していきたいと思います。また、地域で選ばれる、求められる施設となれるよう、質の高いケアを実施し、在宅強化型を目指していきたいと思います。



地域と共に歩む

リヒトハウス北浦は雄大な北浦と行方の大地に囲まれた、平成八年に創設された施設です。私は平成二十八年より理学療法士として勤めさせていただいております。

学生時代から老健施設の特徴である利用者様の生活に密接に関わることができ、身体機能面、環境面を考察するにあたり興味深く取り組むことが出来ると考え、介護老人保健施設への就職を希望していました。

特に、当施設においては私が生まれ育ったなじみの深い地域であり、これまでの経験を生かし取り組んでいくと日々研鑽を積む毎日です。

私がリハビリに携わり特に感じたこととして利用者様に家族と「共に、一員として」これまで通りの役割を持ち続けるという確たる意思を持つ方が多いという



介護老人保健施設 リヒトハウス北浦
理学療法士 甲 祐樹

印象を受けます。

「また畑に出て農作業を手伝いたい」「今も一家で芋を栽培しているが自分の身体が思うようではなく手伝いたくとも手伝えない」「庭の草むしりを日課としている。これからも続けていけるようにがんばっていきたい。」こういった声が多く聞かれます。

もう一度やりたい、これからも続けていきた、これまでの当たり前をこれからも、利用者様、御家族の思いを実現してゆくため、スタッフ一同、全力で取り組ませていただきます。そして私自身も地域医療に従事するものとして、当施設の理念である礼儀、笑顔、言葉使いの三本の柱を胸に取り組んでまいります。

施設紹介

当施設 介護老人保健施設「ゆうゆう」は石岡市医師会病院に併設する施設として平成10年に開設いたしました。地域の皆様に支えていただきながら、平成30年7月に20周年を迎えることができました。開設当初より、「いい日一日」をモットーに、当施設をご利用くださるご利用者・ご家族を中心に、多職種が連携してケアを提供しております。

医療と介護における中間施設としての役割を果たすべく、入所時から退所先を見据えた関わりを行っておりまます。支援相談員によるインテーク調査を強化し、在宅復帰・在宅支援機能を念頭に置いた入退所検討会を開催しております。在宅復帰を目標とされる方に対しては、支援相談員・施設ケアマネ・リハスタッフ・介護スタッフによる入所前後訪問指導を実施し、入所時から在宅生活をイメージした生活を送っていただけるようなケアプランを立案し、多職種協働でケアにあたっております。自宅以外の退所先を検討されている方には、各職種のアセスメントをもとに、その方に合った退所先を提案し情報提供を行うなどの退所支援を行っております。

当施設は開設当初から「考える人を育てる」という考え方のもと、人材育成を行っております。未来投資会議の「未来投資戦略 2017」において“科学的裏付けに基づく介護”的推進が掲げられ、今後より一層、根拠に基づくケアが重要視されると考えられます。当施設においても、より質の高いケアが提供できるよう、専門職としてスキルアップを図っていきたいと考えております。

「ゆうゆうを利用して良かった！」と思っていただけるような施設であり続けられるよう、スタッフ一同努力して参りたいと思います。今後とも、宜しくお願ひいたします。



シニア健康センターしおさい（日立市）



●設立20周年を迎えて

この作品は当施設の利用者様による共同作品です。一つ一つが細かな作業であったため、時間がかかりましたが、楽しく会話しながら作業活動をされていました。完成品はとても大きく・素敵な仕上がりとなり、施設で一番見やすい場所に展示し、皆様をお出迎えしております。

み
ん
た
か

きねぶち（坂東市）



●列車の貼り絵

「平均年齢88歳。3名の利用者様が作業療法として意欲的に取り組まれた列車の貼り絵作品です。

製作期間は、およそ5ヶ月程。11月に開かれた坂東市の作品展に出展しました。」

健田（結城市）



●くるくるピクチャー

「花紙を丸めて作りました。黙々と手を動かす人、作りながら談笑する人、利用者様がそれぞれのペースで作製していく共同作品です。

横から見ると立体的に見え、施設内でも一際目を引くカラフルな作品に仕上りました。」

た
か
な
場

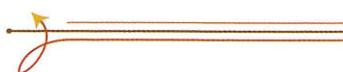
日立南ヘルシーセンター（日立市）



●メリークリスマス！

みんなで協力して作りました。

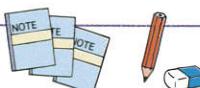
普段おしゃべりな利用者様も、もくもくと作っていました。



みんなの広場に掲載する作品を募集しております。
お気軽に下記電話番号までお問い合わせください。



一編集後記



表紙のマスコットキャラクター「ホロル」は平成23年、町特産品のPRを目的に城里町ブランド創出協議会が作成し、誕生しました。町のシンボル大樹『スダジイ』に住むという伝説のフクロウがモデルになっています。

「アツマーレ」の愛称は公募によるものですが、「城里に集まれ！」と多くの人たちに呼びかけるような意味合いが込められています。山側グラウンドが無料開放される時期もあり、多くの人が芝生と触れ合っています。

一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会

水戸事務局

水戸市千波町1918（月・金9：00～13：00）
TEL. 029-291-5376 FAX. 029-291-6057

平成園

古河市旭町1-17-39（左記以外時間帯対応）
TEL. 0280-31-5998 FAX. 0280-31-7767